

GREEN×EXPO 2027 市出展施設ユニフォーム制作に向けた 衣類回収に関する広報チラシの掲示について【掲示依頼】

1 事業の趣旨

市民の皆様のさらなる脱炭素行動に繋げる「衣類分野の横浜型循環型社会の形成」を目指し、協働事業者とともに取組を進めています。

今回、市民の皆様から不要となった衣類を回収し、その衣類を原料として GREEN×EXPO 2027 の横浜市出展施設のスタッフユニフォームに再生する取組を開始しました。

つきましては、取組実施について、引き続き御理解・御協力いただくとともに、自治会町内会掲示板でのチラシ掲出による広報協力をお願い致します。

2 お願いしたいこと

【区連長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位自治会町内会あて掲示物を送付します。

自治会町内会の掲示板への掲出をお願いします。

3 衣類回収の概要

回収拠点にオリジナル回収ボックスを設置し、衣類を回収します。

ただし、一部民間施設では、施設独自で取り組んでいる既存の衣類回収ボックスを活用します。

- ・回収期間 3月31日（火）まで
- ・回収対象 洗濯してあり、乾いている衣類（Tシャツ・シャツ・ボトムなど）でポリエステル100%、綿100%素材のもの
※その他の素材（混紡素材）の衣類が回収された場合は、リユース・リサイクル等適切に活用予定です。
- ・回収拠点 各区区庁舎・市庁舎・市立図書館・民間施設等（詳細は別紙参照）

4 チラシについて

- ・添付のチラシ（A4サイズ）を各自治会町内会掲示版で掲出をお願い致します。
- ・お手数ですが、回収期限（3月31日）まで掲示をお願いします。
- ・チラシが劣化した場合等には、新しいチラシをお渡しすることも可能ですので、その際は、脱炭素・GREEN×EXPO推進局脱炭素ライフスタイル推進課（TEL045-671-2661）宛てに御相談ください。

衣類回収拠点一覧

<別紙>

No	拠点名	区名	所在地
1	各区庁舎	-	-
2	市庁舎	中区	本町6-50-10
3	市立図書館	-	-
4	無印良品 港南台バース	港南区	港南台3-1-3 B1F
5	無印良品 C o l e t t e ・ M a r e みなとみらい	中区	桜木町1-1-7 4 F
6	無印良品 N E W o M a n Y O K O H A M A	西区	南幸1-1-1 7 F
7	無印良品 フォルテ横浜川和	都筑区	川和町3030 2 F
8	無印良品 5 0 0 星天 q l a y	保土ヶ谷区	星川一丁目1-1 2 F
9	無印良品 イオン金沢八景	金沢区	泥亀1-27-1 1 F
10	無印良品 ゆめが丘ソラトス	泉区	ゆめが丘31
11	無印良品 青葉台東急スクエア	青葉区	青葉台2-1-1 South- 1 本館 3 F
12	するーぷ ランドマークタワー2階	西区	みなとみらい2-2-1
13	するーぷ クイーンズA棟 1F	西区	みなとみらい2-3-1
14	するーぷ MARK IS みなとみらい	西区	みなとみらい3丁目5-1
15	するーぷ chilink	西区	みなとみらい5丁目1-2 横浜シンフォステージ イーストタワー 3 F
16	するーぷ 京急ミュージアム	西区	高島1-2-8 京急グループ本社1F
17	するーぷ ゆめが丘ソラトス 1F	泉区	ゆめが丘31
18	するーぷ 相鉄ジョイナス横浜 3 F	西区	南幸1-5-1
19	するーぷ ジョイナステラス二俣川 3 F	旭区	二俣川2-50-14
20	横浜国立大学 キャンパス	保土ヶ谷区	常盤台79-5
21	AOKI 横浜港北総本店	都筑区	葛が谷6-56
22	AOKI 横浜すみれが丘店	都筑区	牛久保1-19-5
23	AOKI 横浜鶴見西口店	鶴見区	豊岡町16-2
24	AOKI 横浜片倉町店	神奈川区	片倉3-1-8
25	AOKI 横浜みなとみらい店	西区	みなとみらい4-5-1
26	AOKI 横浜弘明寺店	南区	六ツ川1-190-5
27	AOKI 横浜金沢文庫店	金沢区	釜利谷東2-5-5
28	AOKI 横浜大倉山店	港北区	大豆戸町80
29	AOKI 横浜綱島東店	港北区	綱島東2-6-61
30	AOKI 横浜港南台店	港南区	港南台6-12-2
31	AOKI 横浜日野店	港南区	日野中央1-17-12
32	AOKI 横浜鶴ヶ峰店	旭区	鶴ヶ峰本町2-44-2
33	AOKI 横浜三ツ境店	瀬谷区	二ツ橋町163
34	AOKI 横浜緑園都市店	泉区	緑園7-7-3
35	AOKI 横浜山手台店	泉区	領家3-1-1
36	AOKI サイズマックスいずみ中央店	泉区	和泉中央北4-30-1 プレミール中央 1F
37	AOKI 横浜青葉台店	青葉区	青葉台2-8-20
38	あいおいニッセイ同和損害保険（株） 横浜支店	中区	本町5丁目48 あいおいニッセイ同和損保 横浜ビル
39	日本生命保険相互会社 横浜北支社	西区	北幸2-8-4 横浜西口 K N ビル15階

GREEN×EXPO 2027

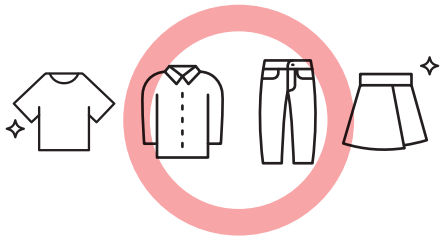
ユニフォームをみんなで作ろう!

不要となった衣類を回収しています!

皆様から回収した衣類をリサイクル技術によりGREEN×EXPO 2027の横浜市出展施設のユニフォーム素材として活用します。

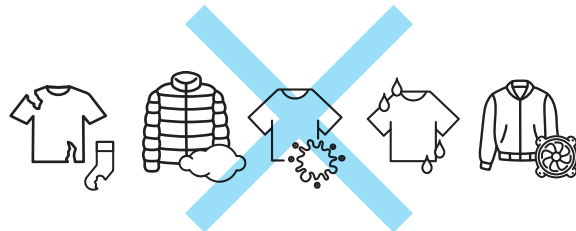
回収できるもの

乾いている衣類
(Tシャツ・シャツ・ボトムなど)で
ポリエステル100%、
綿100%素材のもの



回収できないもの

濡れた服、汚れた服、破れた服、
わたが入っている服、
ファン付作業服



上記の素材以外の衣類についても回収後はリユース・リサイクルに活用します

回収期間

～ 令和8年3月31日(火)

回収拠点 (令和8年1月16日時点、随時拡大予定)

- ・横浜市庁舎・区庁舎・横浜市立図書館
- ・あいおいニッセイ同和損害保険(株) 横浜支店・AOKI 市内全店舗
- ・JGC Digital(株)(するーぷ)・日本生命保険相互会社 横浜北支社
- ・無印良品市内一部店舗・横浜国立大学 キャンパス内

お問い合わせ先 右のフォームより、お問い合わせください。

所管 横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局脱炭素ライフスタイル推進課

回収拠点の
最新情報は
こちらから



お問い合わせは
こちらから



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会
2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

GREEN×EXPO 2027 機運醸成の取組について【情報提供】

1 事業の趣旨

GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）の入場チケットの券種及び価格が決まりましたのでお知らせいたします。

2 お願いしたいこと

【区連長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3 チケット概要

- ・前売チケット 1日券 大人 4,900 円、小人 1,400 円
- ・会期中販売チケット 1日券 大人 5,500 円、小人 1,500 円

前売チケットは、2026 年 3 月の発売を目指しています。詳細は、2026 年春頃に公表される予定です。

また、2027 年の開催に向けて、GREEN×EXPO 2027 に関する様々な新しい情報について、協会公式 Web サイトや公式 SNS 等で順次発信されます。

※その他の券種と価格については、別添資料参照

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課
担当 中島、橋本
電話 045-671-4627 /FAX 045-212-1223
メール da-greenexpo@city.yokohama.lg.jp

NEWS RELEASE

報道関係者各位

2025年12月5日

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

GREEN×EXPO 2027(2027年国際園芸博覧会) 入場チケットの券種及び価格について



GREEN×EXPO 2027 会場イメージ

このたび政府の了承を受け、GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）の入場チケットの券種及び価格が決まりましたのでお知らせいたします。

前売チケット	1日券	大人4,900円、小人1,400円
会期中販売チケット	1日券	大人5,500円、小人1,500円

前売チケットは、2026年3月の発売を目指しています。詳細は、2026年春頃に公表する予定です。
また、2027年の開催に向けて、GREEN×EXPO 2027に関する様々な新しい情報を協会公式Webサイトや公式SNS等で順次発信して参ります。

入場チケットの券種・価格

- ・会期中いつでも1回入場できる1日券
- ・夜から入場できる夜間券
- ・障がい者手帳をお持ちの方の特別割引券
- ・会期中に何度も入場できる通期パス
- ・夏期間に何度も入場できる夏パス
- ・一般や学校の団体に来場される方のための団体割引券

項 目	券 種	概 要	大 人 (満18歳以上)	中 人 (満12～17歳)	小 人 (満4～11歳)
前売チケット	1日券 (早割価格)	会期中いつでも1回入場可	4,900円	3,000円	1,400円
会期中販売 チケット	1日券 (通常価格)	会期中いつでも1回入場可	5,500円	3,300円	1,500円
	夜間券	会期中いつでも17時以降1回入場可	3,500円	1,900円	900円
前売・会期中 販売 チケット	特別割引券	障がい者手帳等をお持ちの方および同伴者1名が購入可能で、会期中いつでも1人1回入場可	2,800円	1,700円	800円
複数回 入場パス	通期パス	会期中いつでも何度も入場可	28,000円	16,000円	6,500円
	夏パス	夏の決まった期間(7/1～8/31)に何度も入場可	12,000円	7,000円	3,000円
団 体	一般団体割引券	15名以上の一般団体が会期中いつでも1回同時入場可	5,200円	3,100円	1,400円
				高校生	中学生 小学生・園児
	学校団体割引券	学校団体が会期中いつでも1回同時入場可		1,700円	900円

※価格は全て日本円・税込みです。

(紙チケットを購入する場合は、別途100円(税込み)をいただく予定です。)

※3歳以下の方は無料となります。

※前売チケットの販売は2027年3月18日までとなります。

チケット販売開始時期

・2026年3月（予定）

チケット販売方法

・2027年国際園芸博覧会公式チケット販売サイトを通じて販売します。また、旅行代理店や各種プレイガイド等のGREEN×EXPO協会が指定する販売事業者による販売も実施予定です。

本件に関するお問い合わせ先

GREEN×EXPO協会（公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会） 機運醸成部 機運醸成課
（担当：太田、中山）

Tel：045-307-2031

GREEN×EXPO 2027 開催概要

名 称	2027年国際園芸博覧会 (International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan)
正 式 略 称	GREEN×EXPO 2027 (グリーンエクスポニーゼロニーナ)
開 催 場 所	神奈川県横浜市
開 催 期 間	2027年3月19日(金)～ 2027年9月26日(日)
テ ー マ	幸せを創る明日の風景 ～Scenery of the Future for Happiness～
博覧会区域	約100ha(内、会場区域80ha)
ク ラ ス	A1(最上位) クラス(AIPH承認+BIE認定)
参 加 者 数	1500万人（有料来場者数：1,000万人以上）
公式サイト	https://expo2027yokohama.or.jp/



公式マスコットキャラクター
「トゥンクトゥンク」

「横浜市中期計画 2026～2029（素案）」の公表と パブリックコメントの実施について【事業説明】

1 趣旨

横浜市では、2026（令和 8）年度から 2029（令和 11）年度までを計画期間とする新たな中期計画の策定を進めています。

本年 9 月に「新たな中期計画の基本的方向」を公表し、9 月の市連会・区連会で市民意見募集の周知についてご協力をお願いさせていただき、大変多くのご意見をいただくことができました。改めてお礼申し上げます。

これらのご意見等を踏まえ、「横浜市中期計画 2026～2029（素案）」を策定し、12 月 3 日（水）に公表しました。

この「素案」に対するパブリックコメントを 1 月 5 日（月）から 2 月 27 日（金）まで行います。地域の皆様から多くのご意見をいただきたく、各区連会 1 月定例会で各自治会への周知をお願いしたいと考えております。

パブリックコメントの実施にあたっては、広報よこはま 1 月号への記事掲載や、各区役所 広報相談係などで「素案」の概要版リーフレットの配布などを行っておりますので、あわせてお知らせします。

今後、多くの市民の皆様のご意見を踏まえて、2026（令和 8）年 5 月頃に「原案」を策定します。

2 お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で周知をお願いします。

3 内容

単位会長あてに概要版リーフレットを送付します。詳細は別添をご参照ください。

【概要版リーフレットの掲載内容】

・「横浜市中期計画 2026～2029（素案）」の概要

・パブリックコメントの実施

実施期間：令和 8 年 1 月 5 日（月）から令和 8 年 2 月 27 日（金）まで

提出方法：以下の方法でご意見をお寄せください。

・横浜市電子申請・届出システム（右の二次元コードより）

・電子メール ・郵送 ・FAX



4 参考

新たな中期計画の策定スケジュール（予定）

2025（令和7）年12月3日（水） 素案の策定

広報よこはま
1月号



素案に対するパブリックコメントの実施等
（2026（令和8）年1月5日（月）～2月27日（金））

2026（令和8）年5月頃 原案の策定

策定した原案は議案として提出する予定です。

政策経営局経営戦略課
担当 細谷、二階堂、井上
電話 045-671-3477 /FAX 045-663-4613
メール ss-keieisenryaku@city.yokohama.lg.jp

～未来の横浜を市民の皆様と一緒に作る～

はじめに

横浜市は、2026(令和8)年度から2029(令和11)年度までを計画期間とする新たな中期計画の策定を進めています。このたび、「横浜市中期計画2026～2029(素案)」をとりまとめました。市民目線の市政を基本に、現状の課題解決に取り組みながら、魅力ある横浜の未来を創造していきます。

計画の構成

共にめざす都市像「明日をひらく都市」の実現に向けた戦略



戦略

市民生活の安心・安全 × 横浜の持続的な成長・発展

あらゆる世代・多様な市民の皆様が安心・安全を基本に、自分らしくいきいきと暮らすことのできる「住みたい・住み続けたいまち」を目指します

世界をリードする都市として持続的に成長・発展することで未来に希望を抱くことができる「選ばれるまち」を目指します

総合的な取組

14の政策群と33の施策群

(政策群は、政策分野に関連する取組をまとめた施策群で構成)

横断的な取組

テーマに関連する施策群による横断プロジェクト

横浜の成長・発展に向けた「明日をひらく都市プロジェクト」

政策・財政・行政が連動し、持続可能な市政運営を更に推進し、施策の推進と財政の健全性の維持を両立

市役所の改革






「行政運営の基本方針」






～ リ・デザイン(市民サービス革新、地域支援の進化、行政事務・組織改革) ～



市政運営の土台

「横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン」

～ 「横浜市将来にわたる責任ある財政運営の推進に関する条例」に基づく基本方針とアクション ～

政策群	目指す姿	施策群
1 毎日の 安心・安全 	<ul style="list-style-type: none"> ●防犯対策の強化が進み、地域防犯力が向上し、犯罪が発生しにくい、誰もが安心して暮らせる環境が整っています。 ●交通安全対策が進み、子どもから大人まで安心して出かけられる環境が整っています。 ●計画的かつ効果的な老朽化対策・保全更新が進み、市民生活に欠かせないインフラ施設を誰もが安心して利用できる環境が整っています。 	施策群 1 防犯、歩行者の安心・安全 施策群 2 インフラ施設の安全確保
2 防災・減災 	<ul style="list-style-type: none"> ●地震防災戦略に基づき、自助・共助・公助の取組が一体的に進み、大規模地震に対して十分な備えができています。 ●風水害のリスクに対し、ハード・ソフト両面の対策が進み、市民の命と財産を守る十分な備えができています。 	施策群 3 地震防災対策 施策群 4 風水害対策
3 医療・保健 	<ul style="list-style-type: none"> ●限られた資源を最大限活用し、最適な医療提供体制を構築することで、子どもから高齢者まで誰もが適切な医療を受けられ、本人・家族が安心して生活することができています。 ●各種がん検診の受診者数の増加により、早期発見・早期治療を進め、がんと診断された方が、適切な医療を受け、安心して生活できる環境が実現しています。 ●増加が見込まれる救急需要に対し、安定的な救急体制が確保できています。 ●市民の生活習慣の改善や生活習慣病の発症予防、重症化予防、健康に望ましい行動を取りやすくする環境づくりを通じて、市民の皆様が健やかな生活を送ることができています。 	施策群 5 医療・救急・保健
4 子ども・子育て 	<ul style="list-style-type: none"> ●全ての子どもを社会全体で支えることで、未来を創る子ども一人ひとりが自分の良さや可能性を発揮し、豊かで幸せな生き方を切り拓く力、共に温かい社会を創り出していく力が育まれています。 ●子どもたちが、様々な遊びや学び、体験機会に接することで、自己肯定感を高められる環境が整っています。 ●誰もが安心して出産・子育てができ、気持ちに余裕をもって子どもに向き合うことができています。 	施策群 6 子育て支援 施策群 7 保育・幼児教育 施策群 8 子どもの体験機会 づくりと居場所の充実 施策群 9 困難な状況にある 子ども・家庭への支援
5 教育 	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校全員給食を通じた食育の推進や学校施設の老朽化対策・快適性の向上など、誰もが安心して学べる環境を整えることで、より良い教育環境につながっています。 ●グローバルに活躍する児童生徒の育成に向けた、プログラムの充実・支援の仕組みが整っており、子どもたちの能力や意欲向上につながっています。 ●ICT活用指導力をはじめ、教職員自らが学び続ける姿勢で臨み、指導力が向上されることで、児童生徒の成長が図られています。 	施策群 10 教育環境の整備 (ソフト・ハード) 施策群 11 安心して生活できる 学びの環境づくり 施策群 12 学力の向上 施策群 13 教職員

政策群	目指す姿	施策群
6 高齢・長寿 	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者の活躍・社会参画の機会が充実し、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、つながり・支えあう地域づくりを進めます。 ●見守りの取組や地域での支え合いを推進し、住み慣れた地域で自らの意思で自分らしく暮らすことができます。 ●新たな担い手の参入促進、定着支援等を通じた人材確保や、DXを通じた業務改善などの働き方改革により、介護需要に対するサービスを持続的に提供することができます。 ●必要な施設・住まいの整備や、相談体制の充実を通じて、日常生活に支援や手助けが必要になっても、一人ひとりの状況に応じたサービスの選択が可能となっています。 	施策群 14 高齢者支援
7 障害児・者 	<ul style="list-style-type: none"> ●障害児・者やその家族への支援を行うと共に、ソフト・ハードの両面からインクルーシブなまちづくりを進め、誰もが安心して暮らせる環境が整っています。 ●DX技術等の活用による体験機会・就労機会の拡充を通じて、自分らしさを発揮し、いきいきと生活ができています。 	施策群 15 障害児・者支援
8 暮らし・コミュニティ 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域で、共に支え合い、誰もが自分らしく活躍できている暮らしやすいまちが実現しています。 ●地域コミュニティが主体となって取り組む地域課題（防犯・防災や環境保全、子育て支援など）の解決に向けた活動が継続すると共に、自治会町内会など地域で活動する団体や人々、企業、学校などの多様な主体と連携する「協働による地域づくり」がより一層推進されています。 ●快適な環境の中で、誰もが一人ひとりのライフスタイルに応じた豊かな暮らしを実感しながら、安心して住み続けることができます。 	施策群 16 地域の生活環境 施策群 17 学び・交流を支える地域の情報拠点 施策群 18 多文化共生 施策群 19 困難を抱えた人の支援
9 交通 	<ul style="list-style-type: none"> ●市域全体で地域公共交通が充実していると共に、快適に移動できる自転車・歩行者空間と、身近な移動手段が確保され、誰もがいきいきと安心して暮らせるまちを実現しています。 ●まちづくりと一体となった交通ネットワークの構築や渋滞対策が進むことで、移動の利便性が高まり、市民生活や企業活動が活性化しています。 	施策群 20 市民の移動手段の確保
10 にぎわい・スポーツ・文化 	<ul style="list-style-type: none"> ●ウォーターフロントを生かしたアーバンリゾートの魅力向上により、国内外から観光客を呼び込み、消費の拡大により地域経済が活性化され、活力・魅力のあるまちとなっています。 ●年齢や性別、障害の有無、家庭環境等に関わらず、市内の各地域で隔たりなく、誰もが、スポーツや文化活動に参加できる機会や楽しめる環境が充実し、また、それらを通じて共に認め、支えあうコミュニティが実現することで、市民が生活の質の向上を実感できています。 	施策群 21 観光・MICE 施策群 22 スポーツ 施策群 23 文化芸術

政策群	目指す姿	施策群
11 産業 	<ul style="list-style-type: none"> ●戦略的な企業誘致により、市内への産業や機能の集積が進み、成長分野をはじめとして新たな雇用の創出や事業機会の拡大など、市内経済の持続的発展につながっています。 ●スタートアップの創出・成長・立地により、雇用者数の増加や市内企業との協業が進み、市内経済の活性化につながっています。 ●中小・小規模事業者の経営基盤が強化されることで、事業継続や雇用維持が実現され、横浜経済の成長や活性化につながっています。 ●グローバルサプライチェーンを支える国際基幹航路を維持・拡大し、横浜港の国際競争力の強化を推進すると共に、企業・物流拠点の立地促進を図り地域の新たな活性化の拠点が形成されています。 	施策群24 経済成長 施策群25 地域産業
12 まちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ●都心部・臨海部では、世界に誇る水際線をはじめとする魅力が更に磨き上げられると共に、適正な土地利用誘導を通じて、都心臨海部や新横浜都心における業務・商業機能の集積や、京浜臨海部における産業機能の高度化が進み、より多くの人や企業を惹きつけるまちが形成されています。 ●郊外部では、鉄道駅周辺や住宅地等において、これまで以上に土地のポテンシャルが引き出され、地域の特色や資源を生かした魅力的なまちづくりが進められています。また、上瀬谷地区においては、GREEN×EXPO 2027開催後のまちづくりが進められています。 	施策群26 都心部・臨海部のまちづくり 施策群27 郊外部のまちづくり
13 環境との共生 	<ul style="list-style-type: none"> ●様々な脱炭素関連施策の展開により、市民・企業の環境意識の高まりを通じて脱炭素の取組が推進され、ハーフカーボンの達成が確実なものとなっています。 ●GREEN×EXPO 2027の取組を通じて、ネイチャーベースドソリューションやサーキュラーエコノミーの考え方が浸透し、市民や事業者の皆様の行動変容につながるなど、新たなグリーン社会の実現に向けた具体的な環境行動が広がっています。 ●横浜らしいサーキュラーエコノミー施策が展開された結果、環境への影響を考慮して行動する市民が増えていると共に、市内産業の発展・育成につながっています。また、アジアを代表するグリーンシティとして、世界の環境政策、都市政策を先導しています。 	施策群28 カーボンニュートラル 施策群29 GREEN×EXPO 2027 施策群30 循環型社会に向けた取組
14 みどり 	<ul style="list-style-type: none"> ●「公園のまちヨコハマ」の推進や動物園のリニューアルによる魅力向上を進めることで、こどもを中心に多様な体験の場が創出されると共に、都市ブランド力の向上につながっています。 ●身近に農を実感できる機会が増えることにより、市民の皆様のもてなで潤いのある暮らしが実現しています。また、循環肥料の市内農地での活用など、都市と農地が近接している横浜市の特徴を生かした取組が進められています。 ●大気や水、土壌などの生活環境の保全に加え、樹林地や河川、海などの自然環境が保全されると共に、市街地でのみどりの創出が進み、市民の皆様が水辺やみどりを身近に感じられています。 	施策群31 公園・動物園 施策群32 都市農業 施策群33 みどりの保全と創出

「横浜市中期計画2026～2029(素案)」の
詳細はホームページをご覧ください

横浜市中期計画2026～2029 素案 🔍



横断的な取組

明日をひらく都市プロジェクト

横浜のポテンシャルや魅力をより高め、横浜の更なる持続的な成長・発展につながるテーマについて、「明日をひらく都市プロジェクト」として、3つのテーマで施策横断的に取り組みます。

「明日をひらく都市プロジェクト」は、計画期間である4年後の目指す姿はもちろんのこと、2040（令和22）年の横浜の姿も目標に掲げ、民間活力を積極的に誘引しつつ、国等との連携も強化しながら、戦略的に取り組んでいきます。

1 循環型都市への移行

生産・消費・再資源化のあらゆるステージで
循環型都市を目指す「YOKOHAMA CIRCULAR LINK※」

2 観光・経済活性化

にぎわいが経済を育み、世界とつながる横浜へ

3 未来を創るまちづくり

日々の暮らしを豊かにし、都市の経済を成長させ、
活力あふれる横浜へ

※横浜の都市特性を生かした、「食・農」「建築・住宅」「資源調達」「企業活動」「消費・行動変容」「DX」の6分野における
重点的な取組を相互にリンクさせ、循環型都市に向けた大きな流れを作り出すもの

新たな中期計画の策定スケジュール

令和7年9月

「新たな中期計画の基本的方向」公表

市民意見募集の実施等

令和7年12月

「横浜市中期計画2026～2029（素案）」の策定

パブリックコメントの
実施等

令和8年5月頃

原案の策定 ※原案を基に議案を提出する予定です。

該当する項目に☑を入れ、ご意見をご記入ください。（複数選択可）

※該当する項目がわからない場合等は、その他に☑してください。

巻頭

☐ 都市像「明日をひらく都市」

I章 「横浜市中期計画2026～2029」の策定

☐ 計画の考え方 ☐ 計画の推進にあたって

II章 基本姿勢

☐ データ経営の徹底 ☐ SDGs実現の視点

III章 計画の全体像

☐ 戦略 ☐ 計画体系 ☐ データ駆動型経営への本格移行

IV章 政策・施策

☐ 14の政策群と33の施策群 ☐ 明日をひらく都市プロジェクト

V章 行財政運営

☐ 行政運営 ☐ 財政運営

VI章～VIII章

☐ 大都市制度 ☐ 計画の前提 ☐ 計画の策定経過

（☐ その他：_____）

ご意見

切り取り線



「横浜市中期計画2026～2029(素案)」 のパブリックコメントについて

募集期間

令和8年1月5日(月)から2月27日(金)まで

ご意見の提出方法

インターネット 入力フォーム

右の二次元コード(横浜市電子申請・届出システム)へ
アクセスし、ご入力ください。

※インターネット入力フォームは、1月5日(月)からご利用できます。



はがき

本リーフレットのはがきを切り取ってご利用ください。
(切手不要、当日消印有効)

電子メール

ss-chuki2026@city.yokohama.lg.jp

FAX

045-663-4613

※電子メール、FAXでご意見をお寄せいただく場合は、様式の定めはありませんが、「横浜市中期計画2026～2029(素案)」に
ついてのご意見である旨を明記の上、本リーフレット内のはがきの設問項目の内容に沿ってご提出ください。

郵便はがき

231-8790

005

料金受取人払郵便

横浜港局
承認

2480

差出有効期限
令和8年
2月27日まで
(切手不要)

見本

(受取人)
横浜市中区本町6-50-10
横浜市政策経営局 経営戦略課 行



●該当する項目にチェック、記入をお願いします。

■住所

☐ 横浜市 _____ 区

☐ 横浜市内

■年代

☐ ～10歳代(未成年)

☐ 30歳代

☐ 60歳代

☐ ～10歳代(成人)

☐ 40歳代

☐ 70歳代

☐ 20歳代

☐ 50歳代

☐ 80歳代～

- ・ご意見の内容は、本市の考え方とともに、個人情報を除き、後日ウェブページで公表します。なお、第三者の利益を害する恐れのあるものなど内容により公表しない場合があります。
- ・ご意見を正確に把握するため、お電話やご来庁でのご意見の受付や個別の回答はいたしません。
- ・ご意見の提出に伴い取得したメールアドレス、FAX番号等の個人情報は「個人情報の保護に関する法律」等に基づき適正に管理し、本案に対する意見募集に関する業務にのみ使用します。



横浜市

横浜市政策経営局経営戦略課

TEL:045-671-2010

FAX:045-663-4613

令和7年12月作成

**横浜市防犯のまちづくり推進条例(仮称)案 骨子と横浜市防犯のまちづくり
推進プラン(仮称)素案のパブリックコメント実施について (情報提供)**

1 背景・概要

特殊詐欺などの増加による犯罪情勢の変化や、人口減少、少子高齢化の進展といった社会的変化に対応するため、市の責務を明確化し、市民や事業者とともに安心して安全なまちづくりを進めることを目的とする条例を制定します。また、条例の目的達成と実効性を担保し、体系的な防犯施策を推進するための計画づくりを進めています。条例案の骨子及び防犯計画の素案について、皆様の多様な意見を反映するため、パブリックコメントを実施します。

(1) 横浜市防犯のまちづくり推進条例(仮称)案 骨子

市の基本理念を示し、市の責務や事業者・市民の役割を明確化するとともに、地域との協働による犯罪抑止と防犯のまちづくりの方向性を定める条例です。

(2) 横浜市防犯のまちづくり推進プラン(仮称)素案

【期間 2026(令和8)～2029(令和11)年度<第1期>

先端技術の活用による防犯インフラ整備をはじめ、市民、地域、事業者、そして行政が一丸となって、犯罪を防止し、安心して安全なまちづくりを進めていくための、今後4年間の施策を体系化した計画です。

2 お願いしたいこと

【区連長】 ご承知おきください。

【地区連長】 地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】 単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3 スケジュール今後の取組予定等

(1) パブリックコメント実施期間

2026年1月9日(金)～2月22日(日)

(2) 主な周知方法

- ・広報よこはま1月号
- ・市HP(防災・救急>防犯>お知らせ)
- ・各区役所 広報相談係
- ・市民情報センターでのチラシ配布

(3) パブリックコメント後のスケジュール

2026年3月 : 意見公募結果を公表

2026年5月～6月 : 令和8年第2回市会定例会へ上程

4 参考資料

参考1 横浜市防犯のまちづくり推進条例(仮称)案 骨子

参考2 横浜市防犯のまちづくり推進プラン(仮称)素案 概要版

参考3 チラシ(市民意見募集の実施について)

参考4 意見投稿用紙(郵送・FAX等でご活用ください)

市民局地域防犯支援課

担当 川口

電話 045-671-3705/FAX 045-664-0734

メール sh-anshinzen@city.yokohama.lg.jp

横浜市防犯のまちづくり推進条例(仮称)案 骨子

名称 「横浜市防犯のまちづくり推進条例」 (仮称)

概要 **市の責務並びに事業者及び市民の役割を明らかにし、防犯のまちづくりを推進することを目的とします。**

(※事業者や市民の皆さまに義務を課したり、権利を制限したりする内容ではありません。)

条例案の骨子

目的	横浜市における犯罪の防止に関し、市の責務、事業者及び市民の役割を明らかにすること。防犯のまちづくりを推進するために必要な事項を定め、もって安心して安全な住みよい地域社会の実現を総合的かつ計画的に推進すること など
基本理念	市、事業者及び市民がそれぞれの役割を果たしながら、協働して防犯に取り組むこと など
本市の責務	目的を達成するため、関係機関と連携すること。防犯のまちづくりに関する施策を策定し、実施すること
事業者の役割	事業活動に当たり、犯罪被害防止のための必要な措置を講じること。市の施策に協力するよう努めること
市民の役割	自らの犯罪被害を防止するために必要な措置を講じること。他の市民に犯罪被害が及ばないように留意すること。市の施策に協力するよう努めること
計画の策定	市長は、防犯のまちづくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、防犯のまちづくりに関する基本的な計画を定めること。計画の策定にあたっては、市民、事業者等の意見を反映できるよう必要な措置を講じること
施策の推進	市長は、データ分析やデジタル技術の活用等に積極的に取り組み、市民、事業者等の意識の啓発を推進し、相互に連携と協力を図るよう努めること など

横浜市防犯のまちづくり推進プラン(仮称)素案 概要版

1 計画策定の経緯

本市におけるこれまでの防犯の取組と成果

「よこはま安全・安心プラン」(平成17年策定)

横浜市では、平成17年に「よこはま安全・安心プラン」を策定し、「自分たちのまちは自分たちで守る」という理念のもと、市民一人ひとりが防犯の主体となる自主防犯力の強化を掲げました。この計画では、行政だけでなく、市民、事業者、警察、学校など地域に関係する多様な主体が連携し、地域ぐるみで犯罪を防ぐ仕組みづくりを推進してきました。

主な取組内容

- ・LED防犯灯の整備(約18万灯)
- ・地域主体による防犯活動の支援
- ・地域防犯カメラの設置補助
- ・様々な場面を活用した啓発活動

成果

これらの取組により、刑法犯認知件数は、戦後最高を記録した平成16年の74,667件から令和3年には12,746件へと、約6分の1にまで減少し、一定の成果がありました。

2 今日的な課題

犯罪情勢の変化(脅威)

近年、横浜市を含む全国的な犯罪情勢は大きく変化しており、犯罪の手口が多様化・巧妙化しています。

- ・特殊詐欺やSNSを悪用した詐欺の増加
- ・いわゆる「闇バイト」などによる凶悪事件の発生
- ・刑法犯認知件数の再増加(令和4年以降)

社会の変化(背景)

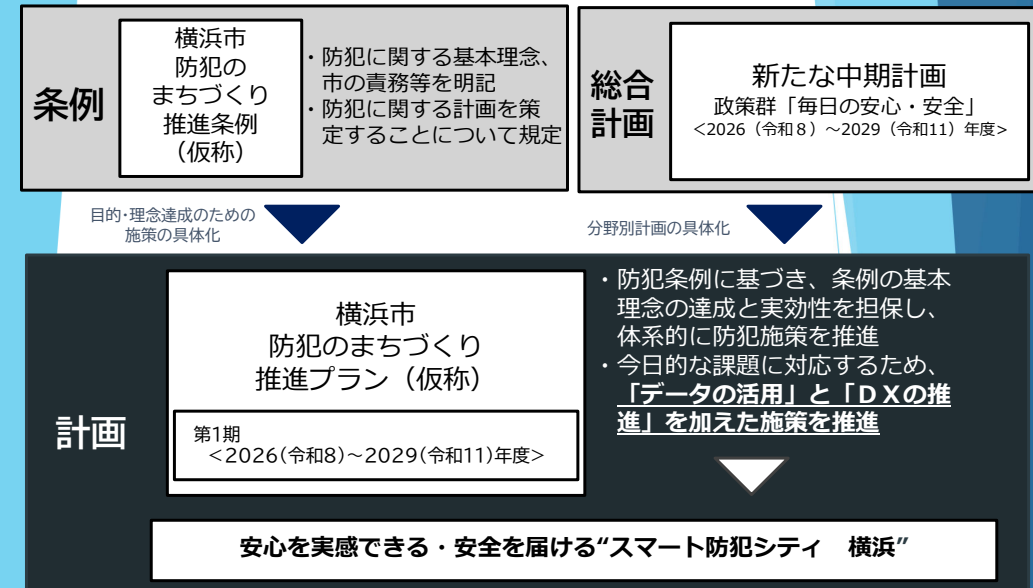
現代社会の構造変化により、地域防犯活動を取り巻く環境は大きく変化しています。

- ・少子高齢化の進行と世帯構造の変化
- ・地域コミュニティの希薄化

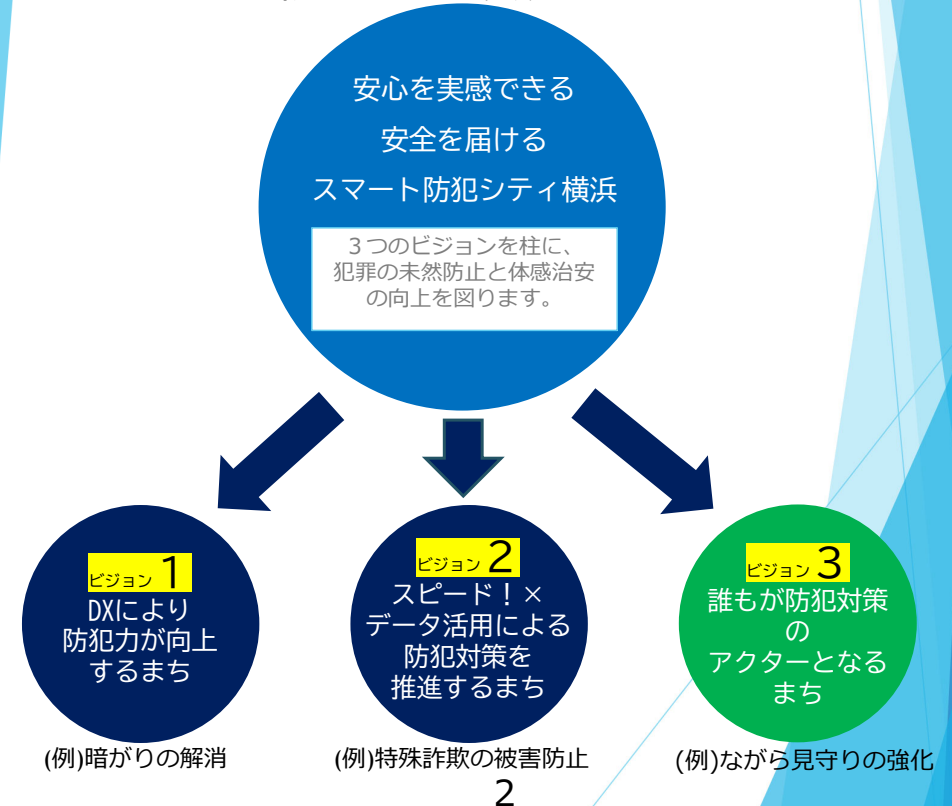
防犯条例・新たな防犯計画の必要性

- ・自治会・町内会の加入率が年々低下しており、地域コミュニティの再構築が求められる一方、従来の地域支援型の取組だけでは急速に変化する社会や犯罪手口の多様化に十分対応できないおそれがあります。
- ・市の責務を明確化し、防犯に関する基本的な考え方と取組方針を示すために新たな防犯条例を制定し、その条例に基づいて市が主導して防犯対策を体系的かつ計画的に推進するための行動計画を策定する必要があります。
- ・行動計画の実施にあたり、市民・地域・事業者・警察、そして行政が一丸となって、持続可能な安心・安全な防犯のまちづくりを実現します。

3 新たな防犯計画の方向性



スマート防犯シティを実現する3つのビジョン



ビジョン1 DXにより防犯力が向上するまち

<現状と課題>

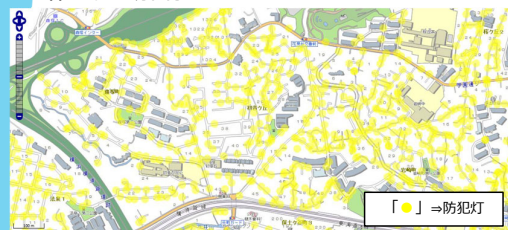
- ・夜間の暗い道路に対する不安感
- ・地域防犯活動の担い手不足
- ・子ども・高齢者を狙った犯罪と体感治安の悪化

<解決の方向性>

- ・安心を実感できる環境の構築
- ・防犯情報を可視化し、地域の安全を「見える化」

<取組案>

暗がりの解消



防犯灯の位置情報を記載した地図データ（イメージ）

<市民意識>

防犯上不安を感じる場所

夜間の道路（暗い道など）	71.7%
繁華街・歓楽街	58.2%
ネット空間（SNSなど）	39.6%
駅やその周辺	36.5%
公園や広場	29.6%
自宅	29.2%
通学路	11.8%
集合住宅の共用部	11.7%

地域の防犯活動への参加経験

・以前は参加していたが今は参加していない
・参加したことがない

67.5%

地域の防犯活動へ参加しない理由

時間的に余裕がない	41.0%
防犯活動の情報が届いていない	34.9%
参加したいが、どのような活動があるのかわからない	29.6%

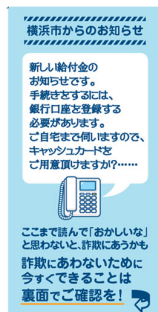
<市民意識>

利用したいと思う防犯情報源

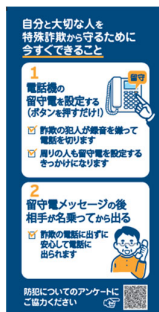
テレビやラジオのニュース・情報番組	46.7%
行政や警察の公式SNS	44.5%
自治会・町内会からの回覧板や掲示板	44.2%
行政や警察の公式広報誌	38.7%
行政や警察の公式Eメール配信サービス	36.5%
インターネットニュースサイト	31.2%
新聞や地域情報誌	27.7%
防犯アプリ（かながわポリスなど）	26.9%
行政や警察の公式ホームページ	24.7%

【出典】防犯意識に関するアンケート結果

【表】



【裏】



ナッジを活用した特殊詐欺被害防止啓発チラシ（R6）

3

ビジョン3 誰もが防犯対策のアクターとなるまち

<現状と課題>

- ・地域防犯活動の担い手不足（再掲）
- ・防犯活動の属人化
- ・参加機会の不足

<解決の方向性>

- ・誰もが自然に防犯に関われる環境整備
- ・多様な主体による協働
- ・防犯活動情報の発信
- ・夜間の安心感を高めるための防犯力の強化

<取組案>

ながら見守りの強化



横浜地域活動・ボランティア情報サイト「よこむすび」

<市民意識（再掲）>

地域の防犯活動への参加経験

・以前は参加していたが今は参加していない
・参加したことがない

67.5%

地域の防犯活動へ参加しない理由

時間的に余裕がない	41.0%
防犯活動の情報が届いていない	34.9%
参加したいが、どのような活動があるのかわからない	29.6%

【出典】防犯意識に関するアンケート結果

4 ロードマップ

2026（令和8）年 5月頃 条例の議案の上程・計画原案の策定

2026（令和8）年 条例の施行とともに計画開始

4

※ナッジ（nudge）とは、人々の行動を自然に望ましい方向へ促す工夫のことです。強制や命令ではなく、選択の自由を残しつつ、ちょっとした「きっかけ」や「仕掛け」で行動を変える方法です。

横浜市防犯のまちづくり推進条例 及びプラン(仮称)案について、 皆様のご意見を募集します！

意見募集期間：令和8年1月9日(金)～2月22日(日)



あなたの声が“安心・安全なまち”
よこはまを作ります！

横浜市市民局
地域防犯支援課

住 所：神奈川県横浜市中区本町
住 所：6丁目50番地の10 横浜市庁舎12階
電 話：045-671-3705
メー ル：sh-anshinzen@city.yokohama.lg.jp

詳細は
こちら！



横浜市防犯のまちづくり推進条例及びプラン(仮称)案 について市民の皆様からご意見を募集します！

(パブリックコメント)意見募集期間：令和8年1月9日(金)～令和8年2月22日(日)

1 経緯

横浜市では、平成17年に「よこはま安全・安心プラン」を策定し、“自分たちのまちは自分たちで守る”という自主防犯力の強化を掲げ、地域と行政の連携による防犯対策を推進してきました。

しかし近年、犯罪の手口は多様化・巧妙化し、刑法犯認知件数も増加に転じています。さらに、少子高齢化や地域のつながりの希薄化などにより、防犯活動の担い手確保が困難となっています。こうした今日的な課題に対応するため、市の責務を明確化した防犯条例を制定し、体系的な防犯対策を進める新たな防犯計画を策定します。つきましては、本案に対する市民意見（パブリックコメント）を募集します。ぜひ皆様のご意見・ご提案をお寄せください。

2 資料の公表方法

本意見募集の内容及び資料は、次の本市ウェブサイト（右の二次元コードを読み込み）に掲載します。併せて、各区役所 広報相談係、市民情報センター（市庁舎3階）及び担当窓口（連絡先等は本ページ末尾を参照）にて、令和8年1月9日(金)から2月20日(金)まで資料を配布・配架します。

(URL) <https://www.city.yokohama.lg.jp/bousai-kyukyu-bohan/bohan/oshirase1/test.html>



3 意見の提出方法

(1) 募集期間

令和8年1月9日（金）～令和8年2月22日（日）（必着。郵送の場合は左記の期間内の消印有効。）

(2) 提出方法

次の①から④のいずれかの方法により意見を提出してください。なお、電話での意見の提出には対応いたしかねますので、あらかじめ御了承ください。

①オンライン入力フォーム

右の二次元コードを読み込み、本市の電子申請・届出システムから提出してください。

②電子メール

意見投稿様式（上記2の本市ウェブサイトからダウンロード）に、意見を入力の上、次の電子メールアドレスに送信してください。

電子メールアドレス：sh-anshinzen@city.yokohama.lg.jp



③郵送又は持参

意見投稿様式に意見を記入の上、担当窓口（本ページ下段）まで郵送又は持参いただき、提出してください。（持参される場合は、平日8：45～12：00、13：00～17：15にお越しください。）

④ファクシミリ(FAX)

別添の意見投稿様式に意見を記入の上、次のFAX番号に送信してください。

FAX番号：045-664-0734

(3) 留意事項（次の事項を予め承知ください。）

- ・意見への個別の回答はいたしません。
- ・お寄せいただいた意見は、本件の目的のみに使用し、意見の提出に伴い取得したメールアドレス、FAX番号等の個人情報は「個人情報の保護に関する法律」の規定に従い適正に管理し、意見の内容に不明な点があった場合等の連絡・確認の目的に限って利用させていただきます。

4 今後のスケジュール

今回の意見募集に提出いただいた意見とそれに対する本市の考えは、上記2の資料の公表方法と同様に、本市ウェブサイト、各区役所区政推進課等にて令和8年3月ごろの公表を予定しています。市民の皆様からの意見を踏まえて更に検討を進め、令和8年5月ごろの市会に条例を議案として上程、計画(プラン)原案を策定する予定です。

◆担当窓口（意見提出先／問合せ先）

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10 横浜市庁舎12階

横浜市 市民局 地域防犯支援課

電話：045-671-3705（平日8:45～17:15）Email：sh-anshinzen@city.yokohama.lg.jp

意見投稿用紙

令和 年 月 日

市民局地域防犯支援課 宛て

横浜市防犯のまちづくり推進条例(仮称)案 骨子、横浜市防犯のまちづくり推進プラン(仮称)素案について、以下のとおり意見を提出します。

(別紙に記載する場合は「別紙に記載」と明記し、意見を記載した別紙を添付してください。)

ご意見を記入される方について（該当する項目にチェックをつけてください。）	
【居住】	<input type="checkbox"/> 青葉区、 <input type="checkbox"/> 旭区、 <input type="checkbox"/> 泉区、 <input type="checkbox"/> 磯子区、 <input type="checkbox"/> 神奈川区、 <input type="checkbox"/> 金沢区、 <input type="checkbox"/> 港南区 <input type="checkbox"/> 港北区、 <input type="checkbox"/> 栄区、 <input type="checkbox"/> 瀬谷区、 <input type="checkbox"/> 都筑区、 <input type="checkbox"/> 鶴見区、 <input type="checkbox"/> 戸塚区、 <input type="checkbox"/> 中区、 <input type="checkbox"/> 西区 <input type="checkbox"/> 保土ヶ谷区、 <input type="checkbox"/> 緑区、 <input type="checkbox"/> 南区、 <input type="checkbox"/> 横浜市外
【性別】	<input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 回答しない
【年代】	<input type="checkbox"/> 20 歳未満 <input type="checkbox"/> 20～29 歳 <input type="checkbox"/> 30～39 歳 <input type="checkbox"/> 40～49 歳 <input type="checkbox"/> 50～59 歳 <input type="checkbox"/> 60～69 歳 <input type="checkbox"/> 70 歳以上
意見の内容 ※条例、プラン(ビジョン1～3等)についてご意見願います。	

- ※1：法人又は団体にあつては、その名称並びに代表者の肩書及び氏名を記載してください。
- ※2：用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とし、別紙に記載する場合は、ページ番号を明記してください。
- ※3：御提出いただいたご意見の結果は、後日公表させていただきます。
- ※4：ご意見を正確に把握する必要があるため、電話による御意見はお受けしていません。また、御提出いただいたご意見に対する個別の回答はいたしかねます。あらかじめ御了承ください。
- ※5：御提出いただいたご意見は、個人情報の保護に関する法律に則り、適正に管理し、御意見の内容に不明な点があった場合の連絡・確認といった、本案に対する意見募集に関する業務にのみ利用させていただきます。
- ※6：電子メール、郵送又は市民局地域防犯支援課への持参、ファクシミリ(FAX)にてご提出ください。
- 【送付先】市民局 地域防犯支援課
〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地1012階
FAX：045-664-0734
電子メール：sh-anshinanzen@city.yokohama.lg.jp

自治会町内会ポータルの運用開始について【情報提供】

1 事業の趣旨

令和 8 年 4 月から、自治会町内会ポータルの運用を開始します。

これにより、地域活動推進費補助金の申請等の手続きが、パソコンやスマートフォンからオンラインで行えるようになります。（従来通り、紙での申請も可能です。）

2 お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3 自治会町内会ポータルの概要

(1) オンライン申請可能な項目

① 補助金申請

- ・ 地域活動推進費補助金
- ・ 地域防犯灯維持管理費補助金
- ・ 町の防災組織活動費補助金

② 基礎情報（現況届・口座情報等）提出

③ 委嘱委員の推薦届出

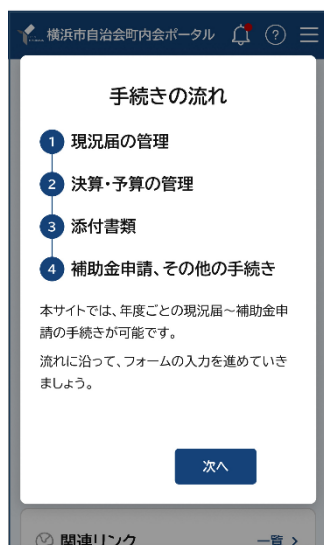
④ 防犯灯新設・移設に係る申請

(2) 今後のスケジュール

2 月～3 月 区より自治会町内会へポータルログイン用の初期 ID・パスワードを配付

4 月 1 日 ポータルの運用開始予定

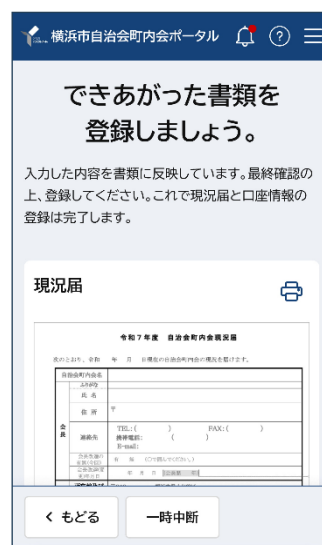
(3) 画面イメージ（スマートフォン版） ※画面は開発中のものです。



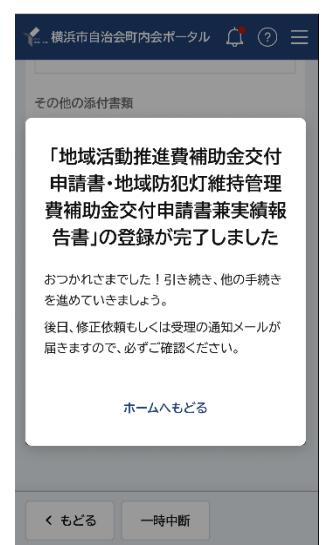
手続きのご案内画面



申請する補助金の確認画面



作成書類の確認画面



完了画面

市民局地域活動推進課

担当 栗田、石栗

電話 045-671-3624 FAX 045-664-0734

メール sh-jichikai@city.yokohama.lg.jp

日本歯科保存学会
市民公開フォーラム

健康なお口で
美味しく楽しく

日時

2026年 2月 18日 水
13:00~14:30

場所

鶴見医師歯科医師会館
横浜市鶴見区鶴見中央1-16-5

歯ブラシ等
プレゼント
付き!

参加者無料 定員60名 申し込み期限2月16日(月)まで

講師 (一社)横浜市歯科医師会 会長 佐藤 信二

講師 鶴見大学歯学部 保存修復学 教授 山本 雄嗣

お申込み方法:お名前・連絡先を記載し、下記TELまたはFAXにお送りください。

※定員になりお受けできない場合のみご連絡いたします。

TEL:070-4039-2626 FAX:045-506-6660

申込者氏名	
ご連絡先	

主催 特定非営利活動法人 日本歯科保存学会
THE JAPANESE SOCIETY OF CONSERVATIVE DENTISTRY

後援 (一社)横浜市歯科医師会 鶴見大学歯学部 鶴見区役所 鶴見区歯科医師会

問い合わせ 月~金曜日 9:00~17:00 鶴見区歯科医師会 070-4039-2626

行政サービスコーナーの一部廃止について【情報提供】

1 趣旨・概要

マイナンバーカードの普及に伴い、住民票などの証明書をコンビニや郵送等で取得する方が増加しています。また、手続の際に住民票などの提出を求められる場面も減少しています。

こうした環境の変化を踏まえ、証明書発行数の少ない一部の行政サービスコーナー（以下、「行政 SC」という。）を廃止するとともに、オンライン手続や区役所窓口の待ち時間短縮など、市民の皆様がより便利になる取組を拡充していきます。

2 依頼事項

【区 連 長】御承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

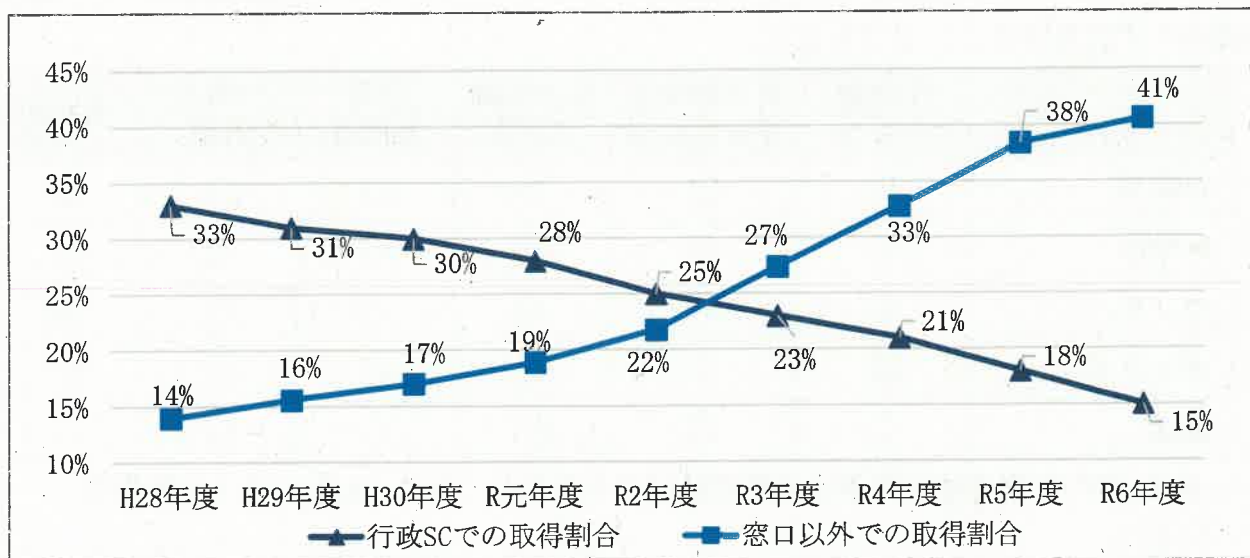
【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

※市民の皆様には、各行政サービスコーナーの廃止のタイミングに合わせて、広報よこはまや市のウェブサイトなど様々な媒体を活用し、情報発信してまいります。

3 証明発行の状況

(1) 行政 SC と窓口以外（コンビニ・オンライン・郵送）での取得割合

行政 SC での取得割合は、平成 28 年度の 33% から令和 6 年度には 15% へと低下する一方で、コンビニなど窓口以外での取得割合は、平成 28 年度の 14% から令和 6 年度は 41% へと大幅に増加しています。



裏面あり

(2) 行政 SC での証明書取得数の状況（戸籍証明と税証明の取得枚数）

過去 10 年間でおよそ半減しており、今後も減少傾向が続くことが予想されます。

	H27 年度	H28 年度	R 5 年度	R 6 年度	10 年間のピークからの減少率
港南台	68,254	70,105	44,050	38,109	47.0%
新横浜駅	104,022	107,054	60,671	50,425	52.9%
東戸塚駅	99,523	102,511	61,527	52,561	49.3%
二俣川駅	108,295	100,442	66,335	56,359	48.0%
日吉駅	124,386	126,416	68,209	55,145	56.4%
上大岡駅	105,681	115,161	72,628	60,284	49.5%
あざみ野駅	138,345	139,986	79,009	66,549	52.5%
鶴見駅西口	137,742	142,504	83,375	70,244	50.7%
戸塚	221,837	224,433	143,849	124,343	44.6%
横浜駅	264,493	270,873	156,680	128,770	52.5%
合計	1,372,578	1,399,485	836,327	702,789	49.8%

4 廃止箇所・年月日

令和 9 年 3 月 31 日	港南台（港南区）、新横浜駅（港北区）、東戸塚駅（戸塚区）
令和10年 3 月 31 日	二俣川駅（旭区）、日吉駅（港北区）、上大岡駅（港南区）
令和11年 3 月 31 日	あざみ野駅（青葉区）、鶴見駅西口（鶴見区）

※残る 2 拠点（横浜駅、戸塚）につきましては、今後の状況を踏まえて検討します。

5 証明書の取得方法

行政 SC で取得できる証明書は、区役所、コンビニ、オンライン、郵送により、今後も変わらず取得することができます。

	住民票の写し	住民票記載事項証明書	印鑑登録証明書	戸籍証明書	戸籍の附票	税証明
行政 SC	○	○	○	○	○	○
区役所	○	○	○	○	○	○
コンビニ	○	○	○	○	○	※2
オンライン	○	○	○	○	○	○
郵送	○	○	※1	○	○	○

※1 国の印鑑登録証明事務処理要領により対象外 ※2 実施に向けて調整中

担当 市民局窓口サービス課 木澤、西尾

TEL : 045-671-2177

Email : sh-miryoku@city.yokohama.lg.jp

つるみ納連

第135号 令和8年 新春号

東京国税局管内納税貯蓄組合
連 合 会

鶴見区納税貯蓄組合
連 合 会
発行人 新田 興 助



鶴見川橋 絵:渡辺秀夫氏

Contents

会長あいさつ	1	入選作品紹介	5
新年あいさつ(税務署長)	1	税を考える週間	8
新年あいさつ(県税事務所長)	2	第35回つるみ臨海フェスティバル	8
新年あいさつ(区長)	2	一日税務署長	8
令和7年度納税表彰式	3	国税だより	9
中学生の「税についての作文」	4	県税だより	12
審査結果		市税だより	13

第 20 回鶴見・あいねっと推進フォーラムの開催について

鶴見区では、「たすけあい、支えあい、人と人とのネットワーク」を基本理念とし、誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりのため、鶴見区地域福祉保健計画（鶴見・あいねっと）を推進しています。

この度、昨年度から策定を進めている第 5 期計画を発表する、第 20 回鶴見・あいねっと推進フォーラムを開催いたします。「想いをつなぐとまちが動き出す 第 5 期鶴見・あいねっとキックオフ！」をテーマに、社会福祉功労者感謝会や鶴見区内の地域活動についての発表、さらに第 5 期計画のお披露目等を行います。

このことについて、広く皆さまにお知らせするためのチラシを作成しましたので、各自治会町内会の掲示板への掲示等の周知についてご理解ご協力の程よろしく願います。

1 推進フォーラムの概要

(1) 日時：令和 8 年 3 月 20 日（金・祝）13：30～15：30（開場 13：00）

(2) 場所：鶴見公会堂（鶴見区豊岡 2－1 フーガ 1 6 階）

入場無料（申込不要）

(3) 内容：【第 1 部】社会福祉功労者感謝会

【第 2 部】地域活動の発表と第 5 期あいねっとについて

困りごとの解決に向けて～移動販売の取組～

※ 発表時に上映する活動の紹介動画を、令和 8 年 3 月 20 日以降の準備ができた段階で、区ホームページに掲載し、YouTube で視聴できるようにいたします。

2 各地区でのチラシの周知について

別途、チラシを配付いたします。各自治会町内会の掲示板への掲示等の周知についてご協力をお願いいたします。



区のホームページにもチラシ
を掲載する予定です。

鶴見あいねっと



担当：鶴見区福祉保健課事業企画担当

高菱・岩本・宇佐美・加藤

TEL 045-510-1826

入場
無料

想いをつなぐとまちが動き出す

第5期 鶴見・あいねっと キックオフ!

どなたでも
参加可能!

公会堂で
待ってるよ!

2026 年
3月20日 金・祝
13:30 → 15:30 開場 13:00

会場 **鶴見公会堂**

鶴見区豊岡町2-1フーガ16階

JR「鶴見」駅から 徒歩1分

京急線「京急鶴見」駅から 徒歩5分

※公共交通機関をご利用ください

誰もが安心して参加できるまちづくりのための活動を「鶴見・あいねっと(鶴見区地域福祉保健計画)」と呼んでいます。
1年間の活動の集大成として、例年フォーラムを開催しています。

第1部 社会福祉功労者感謝会

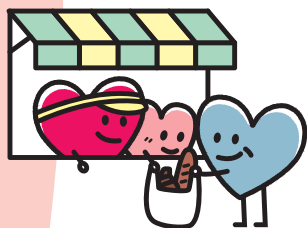
第2部 地域活動の発表と 第5期あいねっとについて

手話通訳・保育あります

保育をご希望の方は、3月2日(月)までに下記事業企画担当までお申込みください。(先着順・定員あり)

困りごとの解決に向けて～移動販売の取組～

地域の高齢者の「買い物が大変」という声から、住民と関係者が協力し、移動販売の導入を検討。導入後は住民同士の交流や見守りの場となり、地域のつながりや役割の創出にもつながっています。



鶴見グランドハイツ自治会・市場大和町自治会



市営生麦住宅

コーディネーター

八森 淳 氏

鶴見・あいねっと
推進委員会副委員長
医療法人 MoLead
つながるクリニック
理事長



いろいろなコーナーがあるよ!

鶴っこ製品の販売

区内の障害者施設の自主製品を販売します。可愛い小物から美味しい焼き菓子まで様々なものがありますので、お立ち寄り下さい!

ボランティアコーナー

区内で活動しているボランティア団体の紹介とクイズをします。クイズに正解すると、素敵な記念品がもらえるかも?!

上の宮中学校和太鼓演奏

◎14:15～14:35(20分程度)

和太鼓部の力強い
和太鼓の音色で、
オープニングを華やかに演出します。



主催：鶴見・あいねっと推進委員会／鶴見区役所、鶴見区社会福祉協議会

鶴見区福祉保健課事業企画担当 電話 510-1826 / FAX 510-1792 鶴見区社会福祉協議会 電話 504-5619 / FAX 504-5616

子どもたちの視点が、地域の未来を照らす。見て、聞いて、感じる。鶴見の“今”と“これから”



未来をつくる、学びのチカラ

申込み
不要

鶴見区合同学習発表会

鶴見区では、地域や地元の企業と学校が手を取り合い、

子どもたちが身近な課題や活動体験を通じて、学びを深める取組を進めています。

今回の「鶴見区合同学習発表会」では、子どもたちが自らの言葉で学びの成果を発表します。

地域の魅力や課題、未来への提案——そのすべてが、子どもたちの視点から語られます。

ぜひ会場で、子どもたちの“気づき”と“想い”に触れてください。

2月27日 2026年 金

10時～12時（開場9時30分～）



会場

鶴見区民文化センター
サルビアホール
4階ホール

▶ ご来場には公共交通機関をご利用ください
JR「鶴見駅」東口から徒歩2分
京急線「京急鶴見駅」西口から徒歩2分



発表校

テーマ

横浜市立新鶴見小学校	「鶴見と沖縄のつながり」
横浜市立入船小学校	「私たちの小枝プロジェクト」
横浜市立下末吉小学校	「下末もったいないワールド～食品ロスについて考えよう～」
横浜市立鶴見小学校	「持続可能な社会を目指して～廃食油の行方～」 「STG's ～持続可能な鶴見川を目指して～」 「鶴見タウンマップでまちの魅力を広めていこう」 「外国の魅力を鶴見に広めよう」 「鶴見防災（ツルサイ）プロジェクト」
神奈川県立鶴見高等学校	「鶴見区の地域課題に関する提案」

詳しくは
こちら



主催 鶴見区役所

問合せ先

鶴見区地域振興課合同学習発表会担当

045-510-1691 tr-shogaigakushu@city.yokohama.lg.jp

横浜地域活動・ボランティア情報サイトよこむすびの登録開始について

1 趣旨

自治会町内会をはじめとする市民活動団体が行うイベント情報やボランティア募集情報を一元的に発信できるサイト「横浜地域活動・ボランティア情報サイトよこむすび」を令和 7 年 4 月にオープンしました。この度、鶴見区において、登録受付を開始しましたので、お知らせいたします。

2 自治会町内会の皆様へお願いしたいこと

(1) 地区連合自治会町内会長様

地区連合自治会町内会会議で本サイトについて周知をお願いいたします。

周知にあたっては、添付資料をご活用ください。

(2) 単位自治会町内会長様、広報ご担当者様

右の二次元コードから、よこむすびをご覧いただき、
会の情報発信ツールとして活用をご検討ください。



よこむすび

検索

3 サイトへの登録・操作について

団体登録申請画面から、ご登録いただくことができます。操作に迷われる方は、操作説明会に、ぜひご参加ください。説明会については、添付資料をご確認ください。

4 添付資料

- (1) よこむすび説明資料
- (2) よこむすび操作・登録説明会チラシ
- (3) よこむすびチラシ

【担当】

市民局市民協働推進課

担当：宮島・石井 TEL：045-671-4734

Email: sh-yokomusubi@city.yokohama.lg.jp

鶴見区地域振興課、区政推進課

担当：石井・青木・長谷川・猿谷・原田

TEL：045-510-1688、1678

Email: tr-yokomusubi@city.yokohama.lg.jp

登録無料



に登録して

自治会町内会の活動紹介やボランティア募集をしてみませんか？

季節の行事など

学生ボランティアなど

NEW 1月19日から
鶴見区で登録できる
ようになりました！



とは？



自治会町内会、NPO、ボランティア団体など（※）、
地域で活動する団体のイベント情報やボランティア募集情報を
集めたポータルサイトです。

※対象団体：自治会町内会（委嘱委員の活動も登録可能）、区民活動支援センター登録団体、地区社会福祉協議会、公園愛護会、水辺愛護会、ハマロード・サポーター等の市民公益活動を行う団体
（令和8年1月現在）



掲載のメリット

メリット①

自治会町内会活動を広く知って
もらうことができます。



メリット②

活動を知ってもらい、参加者が増える
ことで、新たな仲間を増やすキッカケ
になります。



メリット③

活動の実施可否などをリアルタイム
に発信でき、ホームページの代わり
になります。
荒天時に活動中止の情報も、簡単に
発信可能です。



に情報を掲載するには？

ステップ①

団体登録申請 をします。

よこむすび 団体登録申請

検索



区役所確認後、
登録完了メールが届きます。



ステップ②

イベント情報 や
ボランティア募集情報 を
登録・掲載します（随時更新可能）。

問合せ

横浜市市民局市民協働推進課

電話番号：045-671-4734

メールアドレス：sh-yokomusubi@city.yokohama.lg.jp

鶴見区地域振興課、区政推進課

電話番号：045-510-1688、1678

メールアドレス：tr-yokomusubi@city.yokohama.lg.jp



よこむすび

横浜地域活動・ボランティア情報サイト

で活動が広がった事例



活用している団体からいただいた声

A 自治会町内会の事例



夏祭りをイベント掲載したところ、
100 人参加者が増えました！



B 市民活動団体の事例

団体の仲間が
10 人増えました！



C 市民活動団体の事例



掲載記事を見た
3 名の方から連絡が
あり、1 名が活動メ
ンバーとなりました

ほかにも…

情報発信の新たなツールになった！

町内会の HP よりも広く周知できる

リアルタイムに情報発信できる



他の区の人にも活動を知ってもらえた

市のサイトに掲載している
という安心感がある

団体のウェブサイトとして
利用できる

デジタルだから伝わることもある！

地域内の現役世代への周知や、地域外の活動団体や学生の目に留まり、
新しい協働や仲間づくりの可能性が広がります



広告などをきっかけに
「よこむすび」につながる



スマホでいつでも見られるから、
学生や忙しい現役世代にも
情報が届けられる





自治会町内会、地域活動団体の広報、
スマホでもっと簡単・便利に



よこむすび

横浜地域活動・ボランティア情報サイト

操作・登録説明会

「使ってみたいけど、操作がちょっと不安…」
「どんな機能があるの？」という方、ぜひご参加ください！
説明会では、サイトの主な機能のご紹介から、申請・登録の流れまで、
実際に画面を見ながら一緒に操作していきます。
スマホが苦手な方も大歓迎！お気軽にご参加ください



説明会 概要

日時	3月18日(水) 10:00~11:30	会場	鶴見区役所1階 予防接種室
対象	自治会町内会、地区社会福祉協議会、公園愛護会、水辺愛護会、 ハマロード・サポーター、つるみ区民活動センター登録団体		
費用	参加費・登録費ともに無料		
持ち物	パソコン・スマートフォンなどインターネットに接続可能な端末、筆記用具 ※パソコン、スマートフォンは十分に充電ができているか、ご確認ください。		
申込方法	横浜市電子申請システム（⇒二次元コード）より申込み 申込期限：3月16日（月） ※ご不明点は、下記問合せ先までご連絡ください。		



よこむすび

こんな方におススメ！



地域のイベントを
もっといろんな人に
知ってもらえないかな？

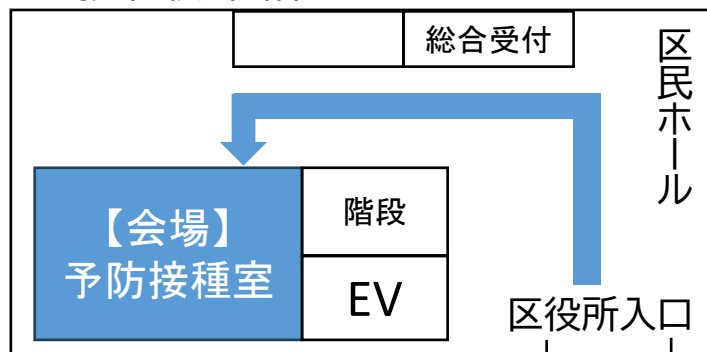
一緒に活動する
仲間を増やしたい！



情報をスマホで簡単に
発信・更新できたら…

他区会場の説明会もご参加いただけます。
詳細は、二次元コード内でご確認ください。

○鶴見区役所1階 フロアマップ



お問合せ 鶴見区地域振興課、区政推進課

TEL：045-510-1688、1687

E-mail：tr-yokomusubi@city.yokohama.lg.jp

市民局市民協働推進課

TEL：045-671-4734

E-mail：sh-yokomusubi@city.yokohama.lg.jp

つながれば、
まちもじぶんも、
もっと好きになる。



ヨコハマでつながる、
広がる、楽しむ



よこむすび

横浜地域活動・ボランティア情報サイト



ヨコハマで地域活動に参加して、
新しい仲間と楽しい時間を過ごしませんか？



「よこむすび」は、自治会町内会、NPO 法人、ボランティア団体など、
地域で活動する団体のイベント情報やボランティア募集情報を集めたポータルサイトです。

市民のみなさんの情報収集の場として、ぜひご活用ください。（※）

（※）発信できる団体には一部制限があります。



横浜地域活動・ボランティア情報サイト よこむすび

検索



横浜市役所
市民局地域活動推進課

TEL : 045-671-2317 FAX : 045-664-0734

Copyright © City of Yokohama. All rights reserved.



よこむすび

横浜地域活動・ボランティア情報サイト



「よこむすび」の由来

ヨコハマのコミュニティをむすぶ、よこの人（隣の人、地域の人）をむすぶウェブサイトになるように、という思いが込められています。

イベントをさがす

横浜市内の活動団体が開催するイベント情報を検索できます。新しい学びや体験、仲間さがしに活用してください。



ボランティア募集をさがす

横浜市内を中心とした、ボランティア募集情報を検索できます。エリアや活動分野から、ご自身に合った活動を見つけてください。



団体をさがす

横浜市に拠点を置く活動団体を検索できます。興味のある団体が見つかったら、その団体が開催しているイベントやボランティア活動に参加してみましょう。



活動団体紹介

横浜市の市民活動やボランティア活動をより身近に感じていただけるよう、さまざまな団体をインタビュー形式の記事で紹介しています。



お知らせメールの登録方法

新着イベント情報・ボランティア募集情報をメールで受け取れます。

STEP 1



メールアドレス登録

STEP 2



本登録

STEP 3



登録完了



鶴見消防署 インフォメーション



2026年も火災に注意しましょう！

2025年の火災件数は、横浜市内で778件(昨年比：100件増)、鶴見区内で61件(昨年比：13件増)で市内、区内ともに2年ぶりに増加しました。2026年も火の元にご注意をお願いいたします。

◆ 鶴見区内の火災・救急概況

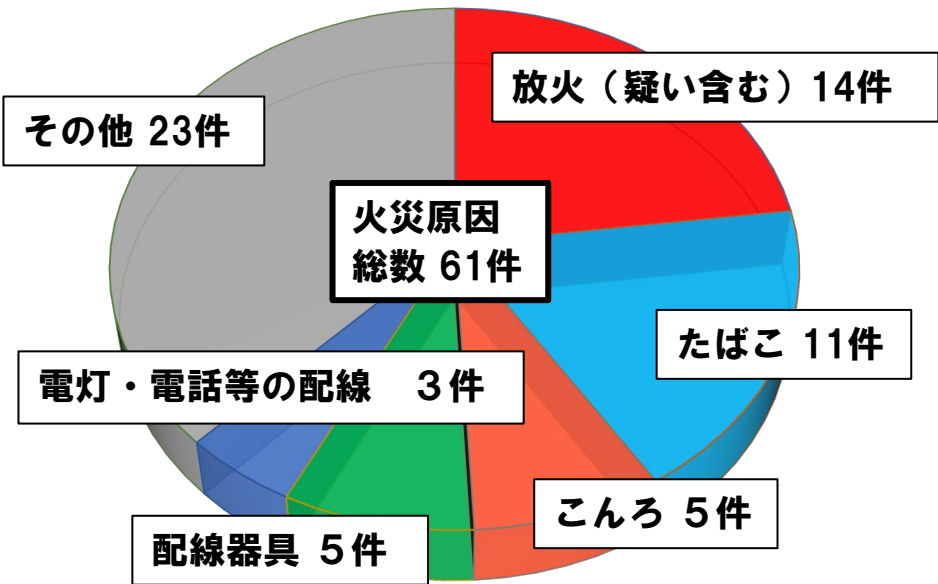
年別 区分		R7年	R6年	増△減
火災件数		61	48	13
火災種別	建物	36	33	3
	林野			
	車両	5	5	0
	船舶			
	その他	20	10	10
損害程度	焼損面積(㎡)	371	161	210
	死者	2	1	1
	負傷者	5	7	△2
主な火災原因	放火(疑い含む)	14	7	7
	たばこ	11	8	3
	こんろ	5	2	3
	配線器具	5	1	4
	電灯・電話等の配線	3	2	1
	その他	23	28	△5
救急件数		17,832	18,986	△1,154
救急種別	急病	12,551	13,530	△979
	交通事故	761	852	△91
	一般負傷	3,177	3,222	△45
	その他	1,343	1,382	△39

◆ 横浜市内の火災・救急概況

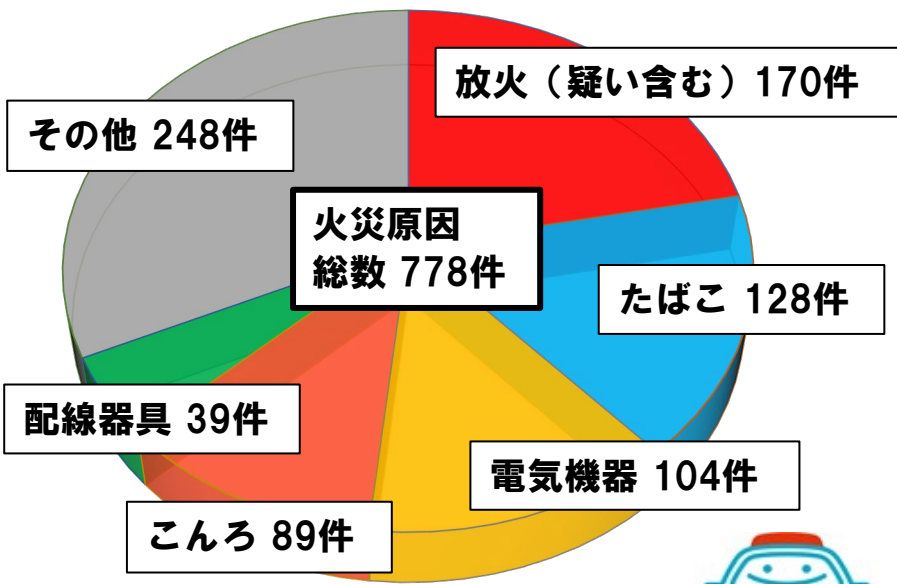
年別 区分		R7年	R6年	増△減
火災件数		778	678	100
火災種別	建物	493	457	36
	林野			
	車両	64	59	5
	船舶	2		2
	その他	219	162	57
損害程度	焼損面積(㎡)	5,813	6,846	△1,033
	死者	22	25	△3
	負傷者	109	108	1
主な火災原因	放火(疑い含む)	170	115	55
	たばこ	128	110	18
	電気機器	104	74	30
	こんろ	89	84	5
	配線器具	39	30	9
	その他	248	265	△17
救急件数		245,321	256,481	△11,160
救急種別	急病	170,054	180,499	△10,445
	交通事故	9,031	9,345	△314
	一般負傷	45,890	47,011	△1,121
	その他	20,346	19,626	720

(令和7年1月1日～12月31日速報値 去年同期比較)

区内



市内



火の用心で、安心な毎日を！

火災はちょっとした不注意から発生することがあります。
今一度、火の元の確認をお願いいたします。

火災を防ぐためのポイント

- 1 たばこの火は完全に消してから捨てる
- 2 寝たばこをしない
- 3 たこ足配線をしない
- 4 傷んだテーブルトップは使用しない
- 5 家の周りに燃えやすいものを置かない



よこはま防災e-パークで火災予防！

よこはま防災e-パークでは、3分で学べるお手軽なコンテンツや住宅防火診断など様々なコンテンツを公開しております。



放火対策編



たばこ火災編



こんろ火災編

鶴見警察署管内刑法犯認知状況表

令和8年1月
鶴見警察署 生活安全課
12月末暫定値

1 罪種別認知状況（年中累計 前年同期比）

年 別	罪種別	凶 悪 犯				粗 暴 犯				窃 盗 犯			知能犯		風俗犯		そ の 他	合 計
		殺 人	強 盗	放 火	不 同 意 性 交 等	暴 行	傷 害	脅 迫	恐 喝	侵 入 盗	乗 り 物 盗	非 侵 入 盗	詐 欺	そ の 他	わ い せ つ	そ の 他		
令和7年 12月末		8	9	1	3	74	64	10	2	48	541	650	158	9	15	20	153	1765
令和6年 12月末		2	2	1	5	51	55	1	3	48	569	457	139	11	14	17	133	1508
前年比		+6	+7	0	-2	+23	+9	+9	-1	0	-28	+193	+19	-2	+1	+3	+20	+257



2 窃盗犯手口別認知状況及び特殊詐欺（年中累計 前年同期比）

年 別	手口別	侵 入 盗						乗り物盗				非侵入盗								合 計
		空 き 巢	忍 込 み	出 店 荒 し	事 務 所 荒 し	そ の 他	小 計	自 動 車 盗	オ ー ト バ イ 盗	自 転 車 盗	小 計	車 上 ね ら い	ひ つ た く り	自 動 販 売 機 ね ら い	万 引 き	部 品 ね ら い	そ の 他	小 計		
令和7年 12月末		12	0	13	3	20	48	34	91	416	541	64	1	4	258	51	272	650	1,239	
令和6年 12月末		22	7	9	2	8	48	11	56	502	569	18	2	4	168	53	212	457	1,074	
前年比		-10	-7	+4	+1	+12	0	+23	+35	-86	-28	+46	-1	0	+90	-2	+60	+193	+165	-10

特
殊
詐
欺

（旧振り込め詐欺）

66
76
-10

特殊詐欺被害総額 約7億7750万円

（※被害額は10,000円単位四捨五入）

キャッシュカード詐欺盗被害… 0人

警察官や銀行協会職員、デパートや電気量販店の店員を装って被害者に電話をかけ、「キャッシュカードが不正に利用されている。」等の名目により、キャッシュカード等を準備させたうえで、隙を見る等し、新しく用意したカードと説明された偽物のカードが入った封筒を渡され、古いカードを回収する旨を理由として、キャッシュカードを犯人に手渡し、キャッシュカード等を窃取する手口です。

オレオレ詐欺被害… 52人 約 6億6455万円

息子や孫の親族等を装い、横領、痴漢等の示談金又は仕事上のミスによる損失の補填、バッグの紛失、借金の返済等を名目として、犯人が自宅へ訪ねて来たり、駅等に呼び出し、金銭等をだまし取る詐欺です。

預貯金詐欺被害… 7人 約 400万円

警察官や区役所職員、銀行協会職員等を装い、保険料の払い戻し名目や、口座が犯罪に利用され、キャッシュカードの交換手続きが必要である等の名目で、暗証番号を聞き出し、キャッシュカードやクレジットカードをだまし取る詐欺です。

還付金詐欺被害… 4人 約 311万円

役所等を装って、保険金や医療費の過払い分の返還を名目に、言葉巧みに被害者をATMに誘導して操作させ、被害者の口座から犯人の口座へお金を振込ませる詐欺です。

架空請求詐欺… 2人 約 570万円

インターネット事業者などを名乗る犯人から、インターネットの未納料金が発生しているなどの名目で携帯電話にメールが送られてきたり、法務省や裁判所からはがき、封書が送られてきて、未払いの料金があるなど架空の事実を口実に、金銭等をだまし取る詐欺です。パソコン操作中に画面がフリーズするなどし、ウイルス感染の警告メッセージに記載された

融資保証金詐欺被害… 1人 約 14万円

お金を借りたい人の心理につけ込み、「融資を受けるには保証金が必要。」等と嘘を言ってお金を騙し取詐欺です。SNS上やネット広告での「ブラックでも融資可能」「即日高額貸付」等の文句には注意が必要です。

鶴見警察署公式X（旧Twitter）
@4339_police



鶴見警察署
ホームページQRコード



地域安全情報

鶴見警察署
生活安全課
防犯少年係

令和7年12月末暫定値

町名別窃盗犯発生分析(総数・ひったくり・空き巣・自転車盗の前年対比)

	窃盗犯発生件数			ひったくり			空き巣			自転車盗		
	令和7年 12月末	令和6年 12月末	前年比	令和7年 12月末	令和6年 12月末	前年比	令和7年 12月末	令和6年 12月末	前年比	令和7年 12月末	令和6年 12月末	前年比
総 数	1239	1074	+165	1	2	-1	12	22	-10	416	502	-86
朝 日 町	34	23	+11			0			0	2	7	-5
安 善 町	1		+1			0			0	1		+1
市 場 上 町	7	4	+3			0	1		+1	4	3	+1
市 場 下 町	11	5	+6			0	1		+1	5	3	+2
市場西中町	6	1	+5	1		+1			0	2	1	+1
市場東中町	5	1	+4			0			0	3	1	+2
市場富士見町	5	6	-1			0			0	2	4	-2
市場大和町	9	5	+4			0			0	3	5	-2
潮 田 町	26	19	+7			0	1		+1	10	9	+1
江 ケ 崎 町	21	26	-5			0			0	10	13	-3
小 野 町	8	12	-4			0		1	-1	2	10	-8
梶 山 町	12	17	-5			0			0	4	12	-8
上 末 吉 町	28	25	+3			0	2	1	+1	8	18	-10
上 の 宮 町	2	2	0			0			0	1	1	0
寛 政 町	2	3	-1			0			0	1	2	-1
岸 谷 町	24	20	+4			0		1	-1	8	8	0
北 寺 尾 町	29	27	+2		1	-1	1	1	0	9	17	-8
駒 岡 町	94	77	+17			0		2	-2	30	23	+7
栄 町 通	31	14	+17			0			0	15	9	+6
汐 入 町	7	3	+4			0			0	4	3	+1
獅子ヶ谷	16	19	-3			0			0	2	6	-4
下 野 谷 町	22	22	0			0		1	-1	8	11	-3
尻 手 町	39	43	-4			0		1	-1	17	20	-3
下 末 吉 町	53	33	+20			0	3	2	+1	19	23	-4
末 広 町	2	2	0			0			0		1	-1
菅 沢 町	8	7	+1			0			0	6	5	+1
諏 訪 坂 町	5	4	+1			0		1	-1	1	2	-1
大 黒 町	9	3	+6			0			0			0
大 黒 ふ 頭 町	6	5	+1			0			0		1	-1
大 東 町	10	9	+1			0			0	5	6	-1
佃 野 町	15	7	+8			0		1	-1	6	3	+3
鶴 見 町	16	13	+3			0			0	5	6	-1
鶴 見 中 央 谷 町	237	225	+12			0	1	1	0	60	86	-26
寺 岡 町	5	2	+3			0			0	2	1	+1
豊 岡 町	116	100	+16			0			0	40	49	-9
仲 通 町	22	15	+7			0			0	9	9	0
生 麦 町	51	52	-1			0	1	2	-1	19	20	-1
浜 町	3	4	-1			0			0	1	4	-3
馬 場 町	23	16	+7			0	1		+1	5	7	-2
東 寺 尾 町	24	19	+5			0		1	-1	5	5	0
東寺尾北台	1	1	0			0			0			0
東寺尾中台	7	9	-2			0		1	-1	4	3	+1
東寺尾東台	1	4	-3			0		1	-1	1	2	-1
平 安 町	33	19	+14			0			0	15	14	+1
弁 天 町	1	2	-1			0			0		2	-2
本 町 通	23	16	+7			0		1	-1	11	7	+4
三ツ池公園	1	3	-2			0			0	1	3	-2
向 井 町	26	12	+14			0			0	12	7	+5
元 宮 町	38	40	-2			0			0	9	13	-4
矢 向 町	64	78	-14		1	-1		3	-3	29	37	-8

交通事故発生状況

令和8年1月
鶴見警察署 交通課

12月末概数

①管内発生状況 (年中累計 前年同期比)

	発生件数	死亡者数	重傷者数	軽傷者数	負傷者数
7年	490	3	27	520	547
6年	523	5	37	555	592
増減数	-33	-2	-10	-35	-45

②県内発生状況 (年中累計 前年同期比)

	発生件数	死亡者数	負傷者数
7年	21320	139	24437
6年	20750	109	24123
増減数	+570	+30	+314

③管内発生状況 (12月中累計 前年同期比)

	発生件数	死亡者数	重傷者数	軽傷者数	負傷者数
7年	50	1	7	47	54
6年	43	0	1	46	47
増減数	+7	+1	+6	+1	+7

明けましておめでとうございます。

今年も、悲惨な交通事故が鶴見区から1件でも無くなるよう、大人が率先して交通ルールを守りましょう！

そして無事故、無違反を目指した、明るい鶴見区を実現しましょう！



以下 管内年中累計件数 (単位:件数)

④路線別

	一般国道			県道・地方道				市道	その他
	国道1号	国道15号	国道357号	川崎町田	産業道路	環状2号	その他		
7年	52	47	1	22	25	17	34	271	21
6年	53	59	0	31	22	22	39	277	20

⑤曜日別

	日	月	火	水	木	金	土
7年	45	89	61	70	80	78	67
6年	53	82	69	74	70	107	68

自転車事故多発中！
ヘルメットを着用しましょう。



⑥時間別

	0時～	2時～	4時～	6時～	8時～	10時～	12時～	14時～	16時～	18時～	20時～	22時～
7年	6	7	9	51	72	58	46	45	78	73	30	15
6年	11	6	15	44	55	72	66	55	85	65	33	16

⑦町名別 (区内多発順)

	鶴見中央	駒岡	生麦
7年	60	51	38
6年	59	51	43

※当月累計の多発順を元に掲載しています。常に発生が多い地区ではありません。

⑧事故類型別

	車両単独	車両同士					人対車両		列車
		正面衝突	追突	出会い頭	右左折時	その他	横断中	その他	
7年	15	4	100	78	89	94	73	37	0
6年	14	9	107	46	108	129	61	47	2

⑨関係者別 (二輪、自転車は子供、高齢者を含む)

	子供	高齢者	二輪	自転車
7年	27	161	143	138
6年	29	170	157	158

自転車事故で亡くなっている方の約6割は、頭部に主な損傷を負っていることから、ヘルメットを着用することは大変重要です。



鶴見警察署
マスコット
キャラクター
かける&まい